



(厚生労働省受託) 第5回水安全計画策定ガイドライン作成調査委員会 (1月18日)

昨年度は、水安全計画のガイドライン第一次原案とケーススタディ(急速汚過)を作成したが、今年度は、水安全計画の概念が一段とわかりやすくなった「塩素消毒のみ」の浄水場を対象としたケーススタディが報告された。今後は、ガイドライン第二次原案と試行プログラムを作成する。

第850回会誌編集委員会 (1月19日)

本誌2月号、3月号の編集方針、投稿審査、新規原稿の取扱い水道協会雑誌の編集企画について審議した。

第14回水道 GLP 認定委員会 (1月23日)

京都市上下水道局の水道 GLP 認定について審議を行い、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。

第15回検査施行要項等専門委員会 (1月25日)

以下の議題について慎重審議し、①については平成19年3月開催予定の第73回検査事業委員会に諮ることとなった。

また、②及び③については、問題点を整理して同検査事業委員会に中間報告することとなった。

- ① 日本水道協会水道配水用ポリエチレン管検査施行要項及び日本水道協会水道配水用ポリエチレン管継手検査施行要項の改正について
- ② 検査証明書に関する制度の改正について
- ③ 検査制度の効率化に関する検討について

第24回給水装置に関する規格専門委員会 (1月25・26日)

(議事：水道用ステンレス製サドル付分水栓等 6回目の審議)

今回は、水道用ステンレス製サドル付分水栓、水道用ステンレス製ボール止水栓及び水道用ステンレス鋼管継手(JWWA G 116)の本体及び解説の制定・改正案の審議をした。

なお、今回の委員会審議及び後日書面による各委員からの細部の修正意見を踏まえ、次回の工務常設調査委員会に諮る案とすることとなった。

第18回広報専門委員会 (1月29日)

報告事項①「宝くじのデザインについて」、報告事項②「安全でおいしい水道水の取組

状況等に関する調査結果について」事務局より報告があった。特に「宝くじのデザインについて」は、平成19年6月発行の4ブロックの宝くじに安全でおいしい水道水をイメージした図柄が券面に採用された旨の説明があった。

続いて、協議事項①「安全でおいしい水道水推進運動について」専用ホームページ、ポスターの進捗状況等について説明があった。

次に、議題①「水道事業における広報のあり方について」、水道事業における広報活動の現状を紹介するとともに、先進的な取り組み、広報に関連した事項を解説した中小規模水道事業者向けの手引き書を作成したい旨説明があり、慎重審議の結果、本委員会において取り組んでいくことを了承した。完成目途は、平成20年3月を予定している。



第256回理事会（1月30日）

赤川専務理事が議長となり、はじめに報告事項1「平成19年度水道関係予算について」、補助金関係については山村厚生労働省水道課長より、起債関係については平野総務省公営企業経営企画室課長補佐よりそれぞれ説明があった。続いて、報告事項2「日本水道協会第75回総会会員提出問題の処理状況について」、報告事項3「日本水道協会第58回全国水道研究発表会における水道フォーラム企画について」、報告事項4「日本水道協会検査制度について」、それぞれ事務局より提出した資料に基づき説明を行い、了承された。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「日本水道協会第76回総会の開催期日及び会場について」、第2号議案「災害時緊急支援事業特別会計（仮称）の設置について」、第3号議案「日本水道協会職員給与規程の一部改正について」、第4号議案「平成18年度日本水道協会会計予算の補正について」が順次上程され、それぞれ事務局より説明を行った。このうち、第2号議案については、細部について更なる検討を要するとの判断から取り下げ、後日、改めて提案することとし、その他の議案については慎重審議の結果、原案どおり決定した。



第126回水道事業管理者協議会（1月31日）

はじめに、日本ウエルネス協会専務理事古川文隆氏より「健康づくりまちづくり」についての講演が行われた。

その後、情報交換事項として①行政評価の取り組みについて②石綿作業従事者の健康診断の実施状況について③水道料金のクレジットカード支払いについて④浄水場発生汚泥の有効利用について⑤小規模水道の編入について⑥大正初期建設ダムの再構築について⑦公共補償基準について、それぞれ情報交換を行った。



日本ウエルネス協会
古川氏



第1回水道料金制度特別調査委員会制度（2月1日）

議題①「正・副委員長の選出」について審議し、委員長には、東洋大学経営学部教授の石井委員が就任し、副委員長には、東京都水道局総務部主計課長の石井委員が就任した。

続いて、議題②「水道料金制度調査会答申」、議題③「今後の主な検討内容」について、それぞれ審議した。議題②では、平成8年に出された水道料金制度調査会の答申における基本理念については、大きな見直しをする必要性はないものとされ、水道料金算定要領の必要な部分の見直しを行うこととなった。議題③では、主に、逡増型料金体系、更新・再構築費用の確保などについて検討を行うこととなった。



東洋大学
石井委員長



東京都水道局
石井副委員長



第27回府県営水道連絡協議会（2月2日）

はじめに、作新学院大学総合政策学部教授太田正氏より、「水道事業の広域化について～広域化政策の過去・現在・今後を考える～」についての講演が行われた。

その後、情報交換事項として①用水供給事業の統合にかかる料金の平準化について②高料金対策及び料金低減策について③-1 水道（用水供給）事業の広域化について・③-2

水道広域化への取り組み状況について④浄水場等施設における長期継続契約業務委託の実施状況について⑤入札ボンド制度の活用について、それぞれ情報交換を行った。

第142回水質試験方法等調査専門委員会（2月6日）

水質検査方法の見直しとして、有機物部会から固相抽出-GC/MS（SPME）法によるかび臭物質の測定法等について、無機物部会から塩素酸・亜塩素酸のEDA添加時の保存・安定性等について、微生物・生物部会から従属栄養細菌の培養条件等について検討事項が報告された。

第8回水道用塗料等に関する規格専門委員会（2月6日）

（議事：水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法に関する審議 第1回目の審議）

この委員会の委員長は、人事異動に伴い不在であったので、委員長の互選を行った。委員長には、山崎大阪市水道局工務部工務担当課長が選出された。つづいて、JWWA K135（水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法）の規格改正について、衛生常設調査委員会の審議結果の報告の後、適用範囲、試験方法の見直し、工事現場における鋼面の塗装方法、最新の規格の様式への変更等について検討を行った。



JIS マーク表示制度・認証書授与式（2月7日）

第5回 JIS 製品認証業務判定委員会（12月25日）及び第6回 JIS 製品認証業務判定委員会（1月26日）にてクボタシーアイ(株)小田原工場、クボタシーアイ(株)栃木工場、(株)九州クボタ化成、アロン化成(株)及び日本鑄鉄管(株)久喜菖蒲工場の初回審査適合性に関わる判定について、それぞれ適合となり、JIS マーク表示制度・認証書授与式が行われた。



第87回経営調査専門委員会（2月8日）

委員長（東京都水道局総務部石井主計課長）及び副委員長（広島市水道局野津山財務課長）の再任について了承を得た後、会議に入った。

初めに報告事項①「クレジットカード支払いの導入～東京都水道局の事例～」について石井委員長から、報告事項②「水道料金制度特別調査委員会の設置」について事務局からそれぞれ報告があった。

続いて、議題①「水道関係判例集」の改訂について審議し、各委員の作業分担等について事務局案のとおり決定した。



第606回抄録委員会（2月9日）

2月委員会は、昨年9月に北京で開催された第5回 IWA 世界会議の発表論文の抄録内容について審議した。この内容については、本誌5月号に掲載する。なお、その後、この会議の発表論文目録の和文題名について審議した。これについては、本誌5、6、7月号の3ヶ月間掲載する。

第119回労務調査専門委員会（2月9日）

初めに議題「水道関係判例集」の改訂について審議し、各委員の作業分担等について事務局案のとおり決定した。

その後、情報交換事項5題について、それぞれ意見交換を行った。

水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



1月23日 兵庫県企業庁水質管理センター



2月2日 京都市上下水道局水質管理センター